

PHILIPS

ヘッドフォン

7000 シリーズ

TAA7306



取扱説明書

で製品を登録してサポートを受けましょう

www.philips.com/support

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	聴覚の安全	2
	一般情報	2
<hr/>		
2	お使いのBluetoothワイヤレスイヤースピース	3
	付属品	3
	その他のデバイス	3
	お使いのBluetoothワイヤレスイヤースピースの概要	4
<hr/>		
3	はじめに	5
	バッテリーの充電	5
	初めてBluetooth対応機器をイヤースピースとペアリングする	5
	イヤースピースを他のBluetooth対応機器とペアリングする	6
<hr/>		
4	ヘッドフォンの使用	7
	イヤースピースをBluetooth対応機器に接続する	7
	電源オン/オフ	7
	通話と音楽の管理	7
	Bluetooth対応機器のバッテリーLEDインジケータ	8
	LEDインジケータのステータス	8
	心拍数モニター	9
	アウェアネスモード	9
<hr/>		
5	イヤースピースを工場出荷時設定にリセットする	9
<hr/>		
6	技術仕様	10
<hr/>		
7	通知	11
	適合宣言	11
	使用済み製品とバッテリーの廃棄	11
	EMFへの準拠	12
	環境情報	12
	準拠通知	12
<hr/>		
8	商標	13
<hr/>		
9	よくあるご質問	14

1 安全上のご注意

聴覚の安全



危険

- 聴覚の損傷を避けるために、大音量でヘッドフォンを使用する時間を制限し、音量を安全なレベルに設定してください。音量が大きいくほど、安全な視聴時間は短くなります。

イヤークラスを使用するときは、次のガイドラインに従ってください。

- 適切な音量で、適切な時間だけ試聴してください。
- 耳が慣れてきますので、音量を上げ続けないように注意してください。
- 周囲の音が聞こえないほど音量を大きくしないでください。
- 危険を伴う場合には、使用を慎重に行うか、一時的に使用を中止してください。
- イヤークラスやヘッドフォンからの過度な音圧は聴覚障害を引き起こす可能性があります。
- 運転中に両耳をふさがれたイヤークラスを使用することは推奨されておらず、一部の地域では違法となる場合があります。
- 安全のため、交通機関や危険が予想される環境にいるときは、音楽や電話に気を取られないようにしてください。

一般情報

損傷や不具合を避けるために：

⚠ 注意

- ヘッドフォンを高温に晒さないでください。
- ヘッドフォンを落とさないでください。
- ヘッドフォンに水滴や水がかからないようにしてください。
- ヘッドフォンを水の中に入れてください。
- アルコール、アンモニア、ベンゼン、研磨剤を含む洗浄剤は使用しないでください。
- 清掃が必要な場合は、柔らかい布で拭いてください。必要に応じて、水または薄めた中性洗剤を少量加えて湿らせ、製品を清掃してください。
- 内蔵バッテリーは、日光、火災等の高温にさらされないようにしてください。
- 電池を誤ったタイプのものに交換すると、セーフガードが無効になる可能性があります。
- バッテリーを火や高温のオープンに捨てたり、バッテリーを機械的に押しつぶしたり切断したりすると爆発する可能性があります。
- 極端に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発や可燃性の液体やガスの漏出を引き起こす可能性があります。
- 極端に低い気圧にさらされた電池は、爆発や可燃性の液体やガスが漏れる恐れがあります。
- 自動車を運転しているとき、自転車に乗っているとき、交通量の多い場所を走ったり歩いたりしているときは、絶対にヘッドフォンを使用しないでください。多くの場所で危険かつ違法な行為となります。

使用・保管時の温度・湿度について

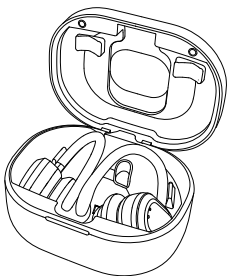
- 動作温度：0°C (32°F) ~ 40°C (104°F)
- 保管温度：-10°C (14°F) ~ 45°C (113°F)
- 動作湿度：8% ~ 90% RH (結露なし)
- 保管湿度：5% ~ 90% RH (結露なし)
- 最高動作高度：3000m
- バッテリーの寿命は、高温または低温の条件下で短くなる場合があります。

2 お使いの Bluetooth ワ イヤレスイヤー ピース

ご購入頂きありがとうございます。そしてフィリップスへようこそ!フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を www.philips.com/support からご登録いただく必要があります。フィリップスのワイヤレスヘッドフォンでできること:

- 便利なワイヤレスハンズフリーでの通話を楽しめます。
- ワイヤレスで音楽を楽しみながら操作できます。
- 通話と音楽の切り替えができます。

付属品



Philips True Wirelessイヤーピース
Philips TAA7306



取り替え可能ゴム製イヤーキャップ
× 3ペア



ウィングチップ × 3ペア



イヤーフック × 3ペア



キャリアポーチ



USB充電ケーブル(充電のみ)



クイック スタート ガイド



海外保証

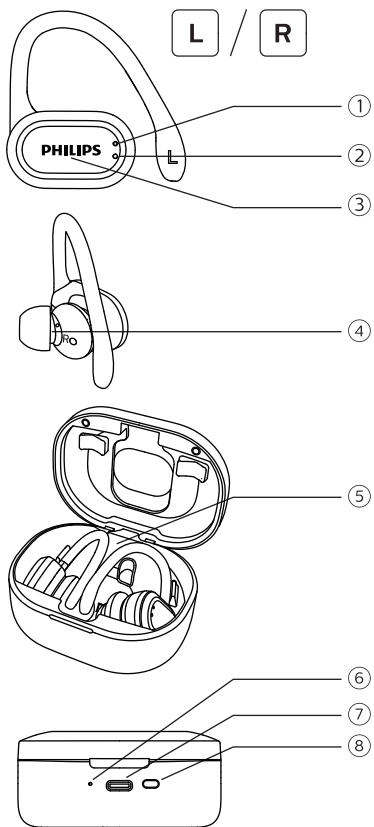


安全説明書

その他のデバイス

スマートフォンやBluetooth対応のデバイス(例:ノートパソコン、PAD、Bluetoothアダプタ、MP3プレイヤーなど)はイヤーピースと互換性があります(10ページの「技術使用」を参照)。

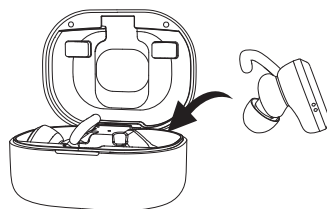
お使いの Bluetooth ワイヤレスイヤースピーズの概要



- ① マイク
- ② LEDインジケータ(イヤホン)
- ③ タッチパネル
- ④ 心拍数モニター (HRM) センサー
(右側のみ)
- ⑤ オペレーションLED(充電ケース)
- ⑥ LEDインジケータ(充電ケース)
- ⑦ USB充電スロット
- ⑧ リセットボタン

3 はじめに

- ・ 充電状況は、イヤークリップの白色のライトで確認することができます。
- ・ イヤークリップが完全に充電されると、白色のライトが消えます。



※ ヒント

- ・ 通常、フル充電には2時間かかります(イヤークリップまたは充電ケース)。

バッテリーの充電

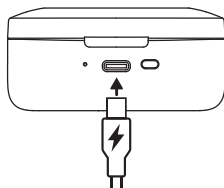
☰ 注釈

- ・ 初めてイヤークリップを使用する前に、イヤークリップを充電ケースに入れてバッテリーを3時間充電し、バッテリーの容量と寿命を最適化します。
- ・ 損傷を避けるため、付属のUSB充電ケーブルのみを使用してください。
- ・ イヤークリップを充電する前に通話を終了してください。イヤークリップの充電を行うために接続すると、イヤークリップの電源がオフになります。

充電ケース

USBケーブルの一端を充電ケースに、もう一端を電源に接続します。

- ↳ 充電ケースが充電を開始します。
- ・ 充電状況は、ケースのUSBソケットの隣にある青色LEDで確認することができます。
- ・ 充電ケースが完全に充電されると、青いライトが点灯します。



※ ヒント

- ・ 充電ケースは、イヤークリップを充電するための携帯用バックアップバッテリーとして機能します。充電ケースが完全に充電されると、イヤークリップの3回のフル充電サイクルに対応します。

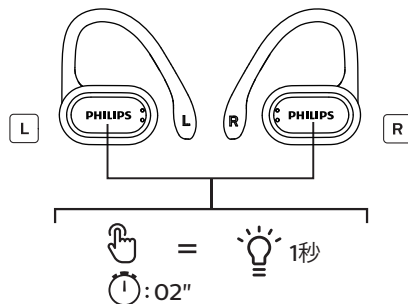
イヤークリップ

イヤークリップを充電ケースに入れてください。

- ↳ イヤークリップが充電を開始します。

初めて Bluetooth 対応機器をイヤークリップとペアリングする

- 1 自動パワーオン: 充電ケースを開けてイヤークリップを取り出すと、青色のLED表示灯が点滅して「パワーオン」ボイスが流れます。
- 2 手動パワーオン: 両方のイヤークリップで、およそ2秒間多機能ボタンを押し続けてください。



- ↳ 両方のイヤークリップ上のLEDが青色に3回点滅し、それから白色に点滅します。
- ↳ 両方のイヤークリップの電源がオンになり、互いにペアリングされます。

↳ イヤーピースはペアリングモードになり、Bluetooth対応機器(例えばスマートフォン)とのペアリングの準備状態になります。

- Bluetooth対応機器でBluetooth機能をオンにします。
- イヤークリップをあなたのBluetooth対応機器にペアリングする。Bluetooth対応機器の取扱説明書を参照してください。

注釈

- 電源を入れた後、イヤークリップが以前に接続されたBluetooth対応機器を検出できない場合は、自動的にペアリングモードに切り替わります。

次の例は、イヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする方法を示しています。

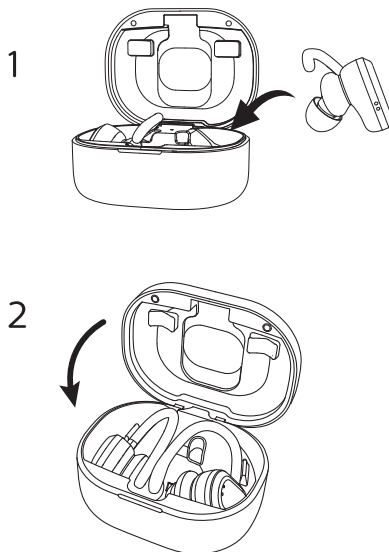
- Bluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにして、**Philips TAA7306**を選びます。
- 指示があれば、イヤークリップのパスワード“0000”(0が4つ)を入力してください。Bluetooth 3.0以降を搭載したBluetooth対応機器の場合は、パスワードを入力する必要はありません。



Philips TAA7306

UV殺菌機能

イヤークリップを充電ケースに入れて蓋を開けると、UV殺菌LEDが1分間点灯します。



イヤークリップを他のBluetooth対応機器とペアリングする

イヤークリップとペアリングする別のBluetooth対応機器がある場合は、以前にペアリングまたは接続された他の機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認します。次に、「イヤークリップを初めてBluetooth対応機器とペアリングする」の手順に従います。

注釈

- イヤークリップは1つの機器をメモリに格納します。2台以上のデバイスをペアリングしようとする、最初にペアリングされたデバイスが新しいデバイスに置き換わります。

4 ヘッドフォンを使用します

イヤークラスをお使いのBluetooth対応機器に接続する

- Bluetooth対応機器でBluetooth機能をオンにします。
- 充電ケースのトップカバーを開きます。
 - 青色LEDが点滅。
 - イヤークラスは、最後に接続したBluetooth対応機器を検索し、自動的に再接続します。最後に接続した機器が使用できない場合、イヤークラスは最後から2番目に接続した機器を検索して再接続します。

ヒント

- イヤークラスは一度に2つ以上の機器に接続することはできません。ペアリングされたBluetooth対応機器が2つある場合は、接続するデバイスのBluetooth機能だけをオンにします。
- イヤークラスをオンにした後でお使いのBluetooth対応機器のBluetooth機能をオンにする場合は、機器のBluetoothメニューに移動して、イヤークラスを機器に手動で接続する必要があります。

注釈

- イヤークラスが5分以内にBluetooth対応機器に接続できない場合は、バッテリーを節約するために自動的に電源が切れます。
- 一部のBluetooth対応機器では、接続が自動的に行われない場合があります。この場合、お使いの機器のBluetoothメニューに移動し、イヤークラスをBluetooth対応機器に手動で接続する必要があります。

電源オン/オフ

作業	操作
イヤークラス 電源オン	イヤークラスを充電ケースから取り出すと電源がオンになる
イヤークラス 電源オフ	イヤークラスを充電ケースに戻すと電源がオフになる

通話と音楽の管理

音楽のコントロール

作業	タッチパネル	操作
音楽の再生/ 一時停止	右のイヤークラス	1回タップする
次の曲	右のイヤークラス	ダブルタップ
前の曲	右のイヤークラス	3回タップする
音量の調節 +/-		携帯電話制御経由

通話のコントロール

作業	タッチパネル	操作
応答する/ 通話中に発信者を切り替える	右/左イヤークラス	1回タップする
電話を切る/ 電話を拒否する	右/左イヤークラス	押す & 2秒待つ

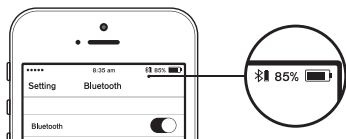
作業	タッチ パネル	操作
三者間通話 現在の通話を 保留し着信に 応答する	右/左イ ヤーピ ース	1回タップする
三者間通話 現在の通話を 保留し着信を 拒否する	右/左イ ヤーピ ース	押す & 2秒 待つ
三者間通話 現在の通話を取 り消し、着信に 応答する	右/左イ ヤーピ ース	ダブルタップ
三者間通話 現在の通話を 保留し通話の 前に切り替える	右/左イ ヤーピ ース	3回タップする

音声コントロール

作業	タッチパネル	操作
Google/Siri の呼び出し	左のイヤーピ ース	2秒間押し続 けて離す
Google/Siri のキャンセル	左のイヤーピ ース	1回タップする

Bluetooth対応機器のバッテリーLEDインジケータ

イヤークーピーに接続すると、Bluetooth対応機器上にバッテリーインジケータが表示されます。



LEDインジケータのステータス

イヤークーピー ステータス	インジケータ
イヤークーピーが Bluetooth対応機 器に接続されている	青色LEDが5秒ご とに点滅
イヤークーピーが電源 オンになっています	白色LEDが3回点滅
イヤークーピーはペア リングモードです	青色LEDが点滅
イヤークーピーが電源オ ンでBluetooth対 応機器に接続され ていない	青色LEDが点滅接続 が行えない場合、イ ヤークーピーは15分以内 に自動的に電源オフ

低バッテリーレベル (イヤークーピー)	イヤークーピー 「Battery low」 という音声通知
低バッテリーレベル (充電ケース)	充電ケース上の青 色LEDが1秒ごとに 点滅
バッテリーが完全に 充電されている(イ ヤークーピー)。	イヤークーピーの白色 LEDが消灯
バッテリーが完全に 充電されている(充 電ケース)。	充電ケース上の白 色LEDが消灯

心拍数モニター

作業	タッチパネル	操作
心拍数モニター オン/オフ	左のイヤ ーピース	ダブルタップ
心拍数の 放送	左のイヤ ーピース	1回タップする

Philips headphones アプリ

	現在の心拍数
	最高心拍数
	最低心拍数
	平均心拍数

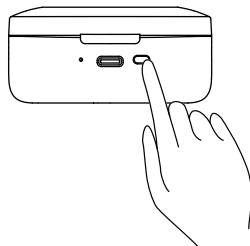
注釈

- HRM機能はPhilips headphones アプリに対応しています。

アウェアネスモード

作業	タッチパネル	操作
クイック 認識	右のイヤ ーピース	タッチ&ホ ールド
認識モード オン/オフ	右のイヤ ーピース	ダブルタップ

5 イヤーピースを 工場出荷時設定 にリセットする



作業	ボタン	操作
ペアリングモ ードに入る	リセット ボタン	タッチ&ホ ールド 3秒
工場出荷時に リセットしてペ アリングモード に入る	リセット ボタン	ダブルタップ
TWSペアリン グでペアリング モードに入る	リセット ボタン	3回タップする

6 技術仕様

イヤークーピー

- 音楽再生時間:6時間(充電ケース使用時はさらに18時間)
- 通話時間:6時間(充電ケース使用時はさらに18時間)
- 待機時間:200時間
- 充電時間:2時間
- 充電式リチウムイオンバッテリー:それぞれのイヤークーピーにつき105 mAh
- Bluetooth バージョン:5.0
- 対応 Bluetooth プロファイル:
 - ハンズフリープロファイル-HFP
 - アドバンストオーディオディストリビューションプロファイル
 - オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル
- サポートされているオーディオコーデック:SBC, AAC
- 周波数範囲:2.402-2.480GHz
- 伝送出力:10dBm未満
- 動作可能範囲:最大10メートル(33フィート)

充電ケース

- 充電時間:2時間
- 充電式リチウムイオン電池:450mAh



注釈

- 仕様は予告なく変更されることがあります。

7 通知

適合宣言

これにより、MMD Hong Kong Holding Limited は、この製品が指令2014/53/EUの必須要件及びその他の関連規定に適合していることを宣言します。適合宣言はwww.p4c.philips.comからご確認いただけます。

使用済み製品とバッテリーの廃棄



製品は、リサイクルおよび再利用が可能な高品質の材料およびコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品に表示されているこの記号は、その製品が欧州指令2012/19/EUの対象であることを意味します。



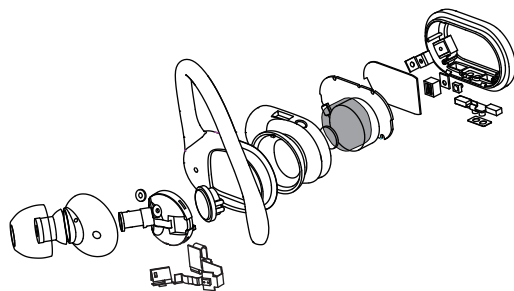
この記号の意図として欧州指令2013/56/EUの適用を受ける内蔵充電式バッテリーで、一般家庭では廃棄できないものを使用しています。充電式バッテリーを専門業者に取り外してもらうために、製品を正式な回収センターまたはフィリップスのサービスセンターに持ち込むことを強くお勧めします。

電気・電子製品と充電式バッテリーの地域別回収システムについてお知らせします。地域のルールに従い、一般廃棄物と一緒に製品と充電式バッテリーを廃棄しないでください。古い製品や充電式バッテリーを適切に廃棄することで、環境や健康への悪影響を防止します。

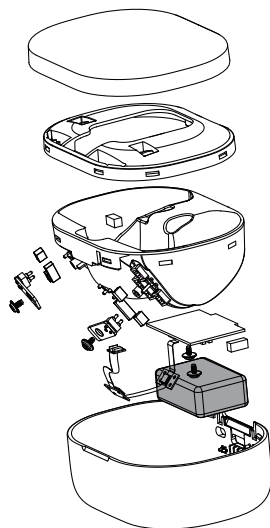
内蔵バッテリーの取り外し

お客様の国に電子製品の回収・リサイクルシステムがない場合、ヘッドフォンを廃棄する前にバッテリーを取り外してリサイクルすることで環境を保護することができます。

- バッテリーを取り外す前に、イヤークラスが充電ケースに入っていないことをご確認ください。



- バッテリーを取り外す前に、充電ケースがUSB充電ケーブルに繋がっていないことをご確認ください。



EMFのコンプライアンス

本製品は、電磁界への曝露に関して適用されるすべての規格および規制に準拠しています。

環境情報

不要な梱包はすべてなくしました。段ボール(箱)、発泡スチロール(緩衝液)、ポリエチレン(袋、保護フォームシート。)に分別しやすい梱包を心がけました。

製品は、専門会社によって解体された場合にリサイクルおよび再利用できる材料で構成されています。梱包材、使用済みバッテリー、古い機器の廃棄については、各地域の条例に従ってください。

コンプライアンスに関するお知らせ

FCC 規則、パート15に準拠しています。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。

1. このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。
2. このデバイスは、受信した干渉(望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

FCC法規

本装置は、テストの上、FCC規則の15部に準拠するクラスBデジタル機器の限度に適合していることが明らかにされています。これらの制限は、住宅設備における有害な干渉からの妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、マニュアルに従って取り付けや使用を行わないと、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

しかしながら、特定の設置条件において、干渉が発生しないことは保証されません。この装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることで判別できます)、次のいずれかの方法で干渉を修正することをお勧めします。

受信アンテナの方向または場所を変えます。

- ・ 装置と受信機の間隔を広げます。
- ・ 装置は、受信機が接続されているものとは異なる回路のコンセントに接続してください。
- ・ サポートについては、ディーラーまたは経験豊富な無線/TV技術者に相談してください。

FCCの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCCの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

注意: 法令等遵守責任者が明示的に承認していない変更・改造を行った場合、お客様の操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

カナダ:

このデバイスには、カナダのイノベーション・科学経済開発省ライセンス免除 RSSに準拠するライセンス免除送信機/受信機が含まれます。次の2つの条件にしたがって操作する必要があります。(1)このデバイスは有害な干渉を引き起こすことはありません。(2)このデバイスは、あらゆる干渉(このデバイスが望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む)をすべて受け入れる必要があります。

ICの放射線被曝に関する記述:

この装置は、管理されていない環境に対して定められたカナダの放射線被曝限度に適合しています。

この送信機は、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に設置したり、連動させたりしないでください。

8 商標

Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

Siri

Siriは米国およびその他の国で登録された Apple Inc.の商標です。

Google

Google、Google PlayはGoogle LLCの商標です。

9 よくあるご質問

使用しているBluetoothイヤークリップの電源が入りません。

バッテリー残量が少なくなっています。イヤークリップを充電してください。

使用しているBluetooth対応機器とBluetoothイヤークリップをペアリングできません。

Bluetoothが無効になっています。イヤークリップをオンにする前に、Bluetooth対応機器のBluetooth機能を有効にし、Bluetooth対応機器の電源を入れてください。

ペアリングがうまくいきません。

- ・ 両方のイヤークリップを充電ケースに入れてください。
- ・ 以前に接続したBluetooth対応機器のBluetooth機能が無効になっていることを確認します。
- ・ お使いのBluetooth対応機器で、Bluetoothリストから「Philips TAA7306」を削除します。
- ・ イヤークリップをペアリングします(5ページの「初めてイヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする」を参照)。

ペアリングのリセット方法

充電ケースから両方のイヤークリップを外します。LEDインジケータが白色に変わるまで、多機能ボタンを両方のイヤークリップを2回押し、約10秒間待ちます。ペアリングが成功すると「Connected」、「Left Channel」、「Right Channel」という音声流れます。

Bluetooth対応機器でイヤークリップが見つかりません。

- ・ イヤークリップが以前にペアリングされたデバイスに接続されている可能性があります。その接続されているデバイスの電源を切るか、電波の届かない場所に移動させてください。
- ・ ペアリングがリセットされたか、イヤークリップが既に他のデバイスに接続されている可能性があります。ユーザーマニュアルの説明に従って、イヤークリップとBluetooth対応機器を再度ペアリングします。(5ページの「初めてBluetooth対応機器にイヤークリップをペアリングする」を参照)。

BluetoothイヤークリップがBluetoothステレオ対応のスマートフォンに接続されているが、音楽はスマートフォンのスピーカーでしか再生されません。

お使いの携帯電話の取扱説明書をご参照ください。イヤホンを通じて音楽を聴く設定をご確認ください。

音質が悪く、音飛びノイズが聞こえます。

- ・ Bluetooth対応機器が動作範囲外にあります。イヤークリップとBluetooth対応機器間の距離を短くするか、間にある障害物を取り除きます。
- ・ イヤークリップを充電してください。

スマートフォンからのストリーミングが非常に遅い場合、またはオーディオストリーミングがまったく機能しない場合に、音質が低下します。

お使いのスマートフォンが(モノラル)HFP/HFPだけでなく、A2DPもサポートしていて、BT4.0x(またはそれ以上)互換であることを確認してください(10ページの「技術仕様」を参照してください)。

Bluetooth対応機器で音楽は聴くことはできませんが、コントロールできません(再生/一時停止/早送り/巻き戻しなど)。

Bluetoothの音源がAVRCP(10ページの「仕様」を参照)に対応していることを確認してください。

イヤークリップの音量が小さすぎます。

Bluetooth対応機器の中には、音量の同期でイヤークリップとの音量のリンクができないものもあります。この場合、適切な音量にするため、Bluetooth対応機器単独で音量を調整する必要があります。

イヤークリップを別の機器に接続できないのですが、どうすればいいですか？

- ・ 以前にペアリングされたデバイスのBluetooth機能がオフになっていることを確認してください。
- ・ もう一方のデバイスでも、ペアリング手順(5ページの「初めてイヤークリップをBluetooth対応機器とペアリングする」を参照)を繰り返します。

片方のイヤークリップからしか音楽が再生されません。

- ・ 通話中は、通常右左のイヤークリップから音が聞こえます。
- ・ 音楽を聞いている時に片方のイヤークリップからしか音が聞こえない場合：
 - ・ もう片方のイヤークリップのバッテリーが切れている可能性があります。最高のパフォーマンスのために、左右のイヤークリップをフル充電してください。

- ・ 右と左のイヤークリップの接続が切れた場合、まず両方のイヤークリップの電源をオフにしてください。次に、左右のイヤークリップを5秒間充電用ケースに戻してから取り出します。イヤークリップの電源がオンになり、左右のイヤークリップを接続します。イヤークリップをお持ちのBluetooth対応機器と再接続します。

- ・ イヤークリップが複数のBluetooth対応機器に接続されています。全ての接続されている機器のBluetooth機能をオフにします。両方のイヤークリップの電源をオフにします。両方のイヤークリップを充電ケースに5秒間入れ、取り出します。イヤークリップをお持ちのBluetooth対応機器と再接続します。イヤークリップは、一度に1つのBluetooth対応機器だけに接続するように設計されています。イヤークリップをお持ちのBluetooth対応機器に再接続するときは、以前にペアリングして接続した他の機器のBluetooth機能がオフになっていることを確認してください。

- ・ 上記の方法で解決されない場合は、イヤークリップを工場出荷時設定にリセットします(9ページの「イヤークリップを工場出荷時設定にリセットする」を参照)。

サポートについては、www.philips.com/support をアクセスしてください。



PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limited が本製品に関する保証を行います。

UM_TAA7306_00_JA_v1.0

